

西部地域支え合い 協議会だより



令和6年9月下旬発行
発行 西部地域支え合い協議会
発行責任者 長島 安一
鶴ヶ島市西市民センター1階
受付時間：水・金 10時～12時
☎・fax 049-214-4005

支え合い協議会の活動について

『西部地域支え合い協議会』の活動について、いくつか紹介します。

1. 日常業務 (1) 窓口業務～西部助け合い隊～

西市民センターが開いている毎週水・金曜日の10:00～12:00に、センター1階事務所に当番がいます。“ちょっとした困り事”などの相談にお寄り下さい。または、お電話ください。対応できることがありますし、有効な方法を一緒に考えるようにします。具体的な相談の例として、いくつか挙げてみます。

- 電球を交換したいのだが、一人ではできなくて困っている。
- 庭の植木や雑草が伸びて困っているのだが、自分では対処できない。
- 家具を移動させたいのだが自分ではできず、業者に頼むことも難しい。
- ゴミを出したいのだが、腰を痛めていて集積場所まで持って行くのが困難な状況です。
- サッシの開閉ができなくなって困っている。網戸が破れたが、自分では修理できなくて困っている。等々です。大がかりなことではない、“ちょっとした困り事”を”お互いさま”で”助け合う”活動です。



3月に実施したアンケートの中で「**困りごとや悩みごとを相談する相手はいますか？**」の質問に「**いない**」と回答した方が**130名(12%)**いらっしゃいました。「**お互いさま**」の関係を築き、“ちょっとした困り事”を地域で解消し、住み慣れた地域でいつまでも自分らしく人生を送れるように、地域支え合い活動への皆様からのご理解・ご協力をお願い申し上げます。

なお、助け合い隊の活動を依頼する場合、20分につき1枚の『ありがとう券』を200円で購入していただきます。困り事のお手伝いをしてもらったお礼にこの『ありがとう券』を助けてくれた方に渡します。この『ありがとう券』は、鶴ヶ島市内の登録店にて地域通貨として利用できます。

(2) 放課後子ども教室

放課後子ども教室とは、平日の放課後や夏休みに地域と学校が連携・協働し、幅広い地域住民等の参画により、地域全体で子供たちの成長を支える多様な活動を行うことです。西部地域支え合い協議会では、子ども部会を中心に平成29年8月から活動し、現在まで通算118回開催し、延べ815名の小学生が参加しています。



2. 各種交流イベント (1) 里山体験会参加

高倉の市民の森で行われた「里山体験会」(NPO法人つるがしま里山サポートクラブさん実施)に協力させて頂いています。樹林地の中で交流・親睦を深めることができました。



(2) 西部地区納涼夏祭り大会参加

新町小学校で開催される夏祭りには継続して参加協力しています。今年は、綿アメと光る金魚の金魚すくいでした。子どもたちにも好評でした。



(3) 夏休み体験学習バスツアーの実施

今年の夏休みには、防災委員会ともコラボして東京消防庁の本所防災館と科学技術館への体験学習バスツアーを実施しました。西部地域支え合い協議会としては3回目のバスツアーです。



(4) プロマジシャンが教える騙されない方法

前半のプロマジシャンのマジックショーと後半の詐欺防止講座で勉強になったと好評でした。